

科目名	基礎情報学 Introduction of Human Information Processing			担当教員 (研究室番号)	齋藤 真（非常勤）		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	多くの医療機関でコンピュータやネットワークによる情報システムが導入され、業務が円滑に進められている。また看護学分野の研究においてもコンピュータを用いたデータ処理が多用されている。本講義では、医療の分野における様々な情報をどのように扱うかということを目的に、1) 看護における学術情報の利用、2) SPSSを用いた保健統計学について講義および演習を行う。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）										
	関連する DP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）										
到達 目標	1. 看護領域における医療情報とは何か基本的な概念が理解できる。 2. SPSSを用いた保健統計について各処理項目が理解でき、実際に活用できる。 3. データ集計技法について基本的な方法が理解できる。											
成績評価方法 (基準)		1) 看護における学術情報の利用は課題20%、試験20%とする。2) SPSSを用いた保健統計学は課題20%、試験を40%とする。また看護における学術情報の利用とSPSSを用いた保健統計学の両方が合格した場合に単位を認定する。、										
再試験の有無と 基準等		実施する。										
教科書		看護における学術情報の利用はプリントを使用する。SPSSを用いた保健統計学はオリジナルテキストを用いる。										
参考書等												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		・演習をともなうため、欠席をしないこと。（1回目の授業は出欠表を作成するため、必ず出席すること。） ・1人1台のパソコンを用いて演習を行うため、席は指定席とする。										
備考		2、3回目は学外協力者による講義。										
回	学習項目				学習内容				主担当 教 員	授業 方法		
1 回	情報倫理とセキュリティ				本学のネットワークシステムを使用することについて機器や操作方法について再度確認をする。看護における医療情報について概観し、情報に対する倫理について、ブログやソーシャルネットワークワーキングから深く学ぶ。また情報発信の実情やその問題点について理解を深める。さらにコンピュータウィルス、不正アクセスについても理解を深める。提出課題あり。				齋藤	講義		
2 回	看護における学術情報の利用①				学術情報を検索する方法について学ぶ。 ・OPACの使い方（情報リテラシーの内容を含む） ・文献複写依頼の仕組み、仕方 上記、2項目について演習を行いながら進める。提出課題あり。				齋藤 学外 協力者	講義 演習		
3 回	看護における学術情報の利用②				学術情報を検索する方法について学ぶ。 ・医学中央雑誌webでの検索方法、検索の考え方 ・メディカルオンラインの操作方法、くすりのデータベース 上記、2項目について演習を行いながら進める。提出課題あり。				齋藤 学外 協力者	講義 演習		
4 回	看護における学術情報の利用③（試験） 生成AIについて				・第2回、3回の内容の筆記試験を行う。 ・Chat GPT等に代表される生成AIについて、デモンストレーションを通して説明を行う。				齋藤	講義 演習		
5 回	SPSSを用いた保健統計① ・SPSSの基礎演習				SPSSの使い方について基本を学ぶ。				齋藤	講義 演習		
6 回	SPSSを用いた保健統計学② ・1標本のt検定 ・2標本のt検定（対応なし） （等分散を仮定する場合、しない場合）				母平均の検定について模擬データを処理し、理解を深める。 2標本のt検定について模擬データを処理し、理解を深める。 提出課題あり。提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
7 回	SPSSを用いた保健統計学③ ・2標本のt検定（対応あり）				2標本のt検定について模擬データを処理し、理解を深める。 提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
8 回	SPSSを用いた保健統計学④ ・相関・回帰				相関・回帰について模擬データを処理し、理解を深める。 提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
9 回	SPSSを用いた保健統計学⑤ ・ノンパラメトリック検定 マンホイットニーのU検定				マンホイットニーのU検定について模擬データを処理し、理解を深める。提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
10回	SPSSを用いた保健統計学⑥ ・ノンパラメトリック検定 ウィルコクソンの符号付き順位検定				ウィルコクソンの符号付き順位検定について模擬データを処理し、理解を深める。提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
11回	SPSSを用いた保健統計学⑦ ・ノンパラメトリック検定 カイニ乗検定（適合度の検定）				カイニ乗検定（適合度の検定）について模擬データを処理し、理解を深める。提出課題あり。				齋藤	講義 演習		
12回	SPSSを用いた保健統計学⑧ ・ノンパラメトリック検定 カイニ乗検定（独立性の検定）				カイニ乗検定（独立性の検定）について模擬データを処理し、理解を深める。提出課題あり。				齋藤	講義 演習		

回	学習項目	学習内容	主担当 教 員	授業 方法
13回	SPSSを用いた保健統計学⑨ ・分散分析および多重比較	分散分析および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。（一元配置法対応あり）提出課題あり。	齋藤	講義 演習
14回	SPSSを用いた保健統計学⑩ ・分散分析および多重比較	分散分析および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。（一元配置法対応なし）提出課題あり。	齋藤	講義 演習
15回	SPSSを用いた保健統計学⑪ ・まとめと試験	SPSSを用いた記述統計、推測統計に関する試験を行う。	齋藤	講義 演習

学 習 課 題
課題1（事後）講義1の内容について、本学のネットワークシステムを用いて指定の課題を実践する。 課題2（事後）講義2の内容について、情報の収集、閲覧、発信と倫理についてレポートを提出する。 課題3（事後）講義3、4の内容について、メディカルオンラインを利用し、レポートを提出する。（20%） 課題4（事後）講義5～14の内容について、講義中に配布した課題を行う。 ※講義中に配付した資料は、学内ホームページの資料レポート管理システムからダウンロード可能。

実務経験を活かした教育の取組
1) 学術情報と看護の担当教員は大手書店で図書館司書の教育業務および医療系データベースの教育業務に携わっている。2) SPSSを用いた保健統計担当教員は、統計計算用プログラムおよび計測用プログラムの開発に関して実務経験がある。いずれの教員もそれらの経験を生かした教育を進める。